

I 男女共学化に関するデータ

1. 共学化の実施状況

区分	統合共学化	単独校の共学化	中高一貫校への改編
平成17年度	■角田・□角田女子 ■築館・□築館女子 ■気仙沼・□鼎が浦	■古川	□古川女子
平成18年度		■石巻 □石巻女子 ■石巻商業	
平成19年度		■仙台第二	
平成20年度		□第一女子	
平成21年度		■仙台第三	
平成22年度	■白石・□白石女子 ■塩釜・□塩釜女子	■仙台第一 □第三女子	□第二女子

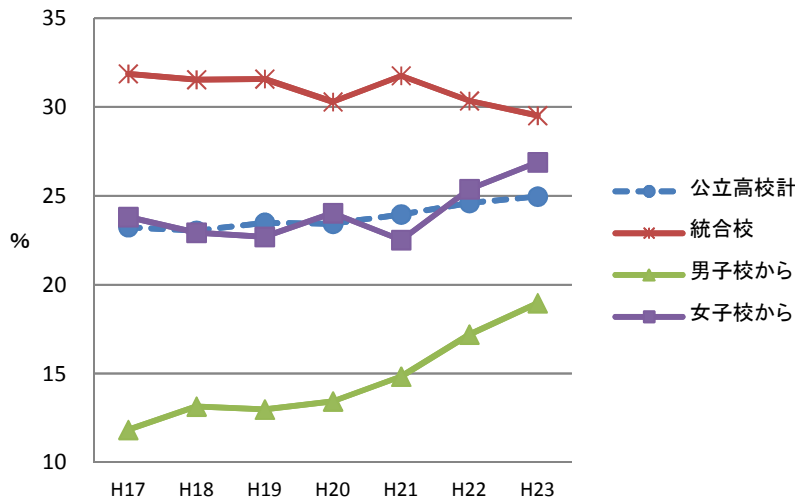
(備考) ■旧男子校, □旧女子校

2. 男女別クラスのある学科の割合 (%)

区分	H17年度以降に共学化した高校			左記以外の高校							
	統合校	男子校から	女子校から	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	総合学科	その他
H20年度	0.0	0.0	75.0	26.5	44.4	80.0	0.0	50.0	66.7	16.7	0.0
H21年度	0.0	33.3	50.0	26.5	44.4	80.0	0.0	50.0	66.7	16.7	0.0
H22年度	0.0	14.3	66.7	23.5	33.3	80.0	0.0	50.0	66.7	14.3	0.0

(備考)「H17年度以降に共学化した高校」については、共学化した学年のみを対象としている。

3. 共学化校における女性教員の割合 (%)



	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
公立高校計	23.2	23.0	23.5	23.4	24.0	24.6	25.0
統合校	31.9	31.5	31.6	30.3	31.8	30.3	29.5
男子校から	11.8	13.2	13.0	13.4	14.8	17.2	19.0
女子校から	23.8	22.9	22.7	24.0	22.5	25.4	26.9

4. 一般入試の出願倍率

区分	高校名	学科・コース	一般入試の出願倍率										
			H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
統合による 共学化校	角田	普通科					1.00	1.01	1.19	0.95	0.78	0.95	0.94
	角田	普通科	0.86	0.78	0.92	1.08							
	角田女子	普通科	1.07	0.67	0.89	0.89							
	築館	普通科					0.96	0.88	0.98	0.73	0.86	0.89	0.97
	築館	普通科	1.19	0.88	0.90	0.89							
		理数科	0.58	0.55									
	築館 瀬峰	普通科	0.74	1.05	0.56	0.48							
	築館女子	普通科	0.98	1.01	1.21	1.15							
	気仙沼	普通科					1.05	1.18	1.12	1.03	1.15	1.14	1.01
	気仙沼	普通科	1.06	1.41	1.17	1.35							
	鼎が浦	普通科	1.14	1.06	1.10	1.20							
	白石	普通科										1.04	1.10
		看護科										1.29	1.88
	白石	普通科	1.10	1.02	0.93	1.34	1.02	0.91	0.89	1.02	1.08		
	白石女子	普通科	1.14	1.07	1.13	0.88	1.10	0.96	1.07	1.29	1.03		
		看護科	1.00	1.69	0.93	2.27	1.04	1.04	1.75	1.17	1.46		
	塩釜	普通科										1.57	1.16
		商業科										2.42	1.50
	塩釜	普通科	1.47	1.43	1.41	1.72	1.28	1.54	1.25	1.32	1.61		
商業科		1.52	1.52	1.79	1.55	2.21	1.65	1.79	1.80	2.36			
塩釜女子	普通科	1.64	1.48	1.62	1.25	1.68	1.71	1.59	1.69	1.56			
小 計			1.18	1.12	1.15	1.19	1.20	1.18	1.20	1.15	1.20	1.22	1.09
男子校から	古川	普通科	1.35	1.18	1.17	1.23	1.26	1.33	1.10	1.39	1.01	1.19	1.24
	石巻	普通科	1.10	1.11	1.04	0.86	1.14	1.15	1.28	1.01	1.07	1.13	1.13
	石巻商業	普通科	1.06	1.38	1.12	0.88	1.03	1.27	1.33	1.12	1.18	1.23	1.29
	仙台二	普通科	1.37	1.29	1.34	1.21	1.43	1.33	1.39	1.22	1.45	1.00	1.16
	仙台三	普通科	1.40	1.41	1.43	1.83	1.67	1.66	1.43	1.36	1.76	1.49	1.65
		理数科	1.40	2.00	2.19	1.71	1.77	1.46	1.67	1.50	2.31	1.69	2.17
	仙台一	普通科	1.27	1.31	1.07	1.28	1.30	1.32	1.21	1.29	1.26	1.94	1.56
小 計			1.31	1.30	1.26	1.30	1.38	1.36	1.30	1.26	1.37	1.38	1.39
女子校から	古川黎明	普通科					1.33	1.14	1.34	0.89	1.22	1.26	1.34
	古川女子	普通科	1.33	1.15	1.16	1.29							
		看護衛生科	0.96										
	石巻好文館(石巻女子)	普通科	0.99	1.12	1.06	1.08	1.18	1.00	1.11	0.98	1.23	1.18	0.97
	石巻女子	普通科	0.99	1.12	1.06	1.08	1.18						
	宮城一(宮一女)	普通科	1.08	1.29	1.26	1.34	1.10	1.26	1.52	1.44	1.37	1.03	1.24
		理数科	0.88	1.35	1.29	1.35	1.33	1.54	0.90	1.35	1.42	1.27	1.31
	仙台二華(宮二女)	普通科	1.14	1.08	1.42	1.41	1.07	1.52	1.24	1.20	1.07	1.50	1.30
	仙台三桜(宮三女)	普通科	1.33	1.57	1.56	1.45	1.30	1.67	1.42	1.56	1.26	1.71	1.74
小 計			1.16	1.25	1.31	1.34	1.20	1.36	1.31	1.25	1.23	1.36	1.34
石巻市立女子	普通科	1.26	1.13	1.36	1.12	1.18	0.97	0.94	1.01	0.83	1.01	0.74	
石巻市立女子商業	商業科	1.03	1.17	0.91	0.95	1.06	0.66	0.64	0.71	0.68	0.45	0.55	
全 日 制 計			1.34	1.31	1.29	1.28	1.27	1.24	1.25	1.24	1.20	1.26	1.22
前 年 度 差			-	▲ 0.02	▲ 0.02	▲ 0.01	▲ 0.02	▲ 0.02	0.00	▲ 0.01	▲ 0.03	0.05	▲ 0.04
(参考)中学校等の卒業生数			28,560	27,521	26,516	25,552	24,418	23,607	23,481	23,038	22,092	22,797	22,003
前 年 度 比 (%)			-	▲ 3.6	▲ 3.7	▲ 3.6	▲ 4.4	▲ 3.3	▲ 0.5	▲ 1.9	▲ 4.1	3.2	▲ 3.5

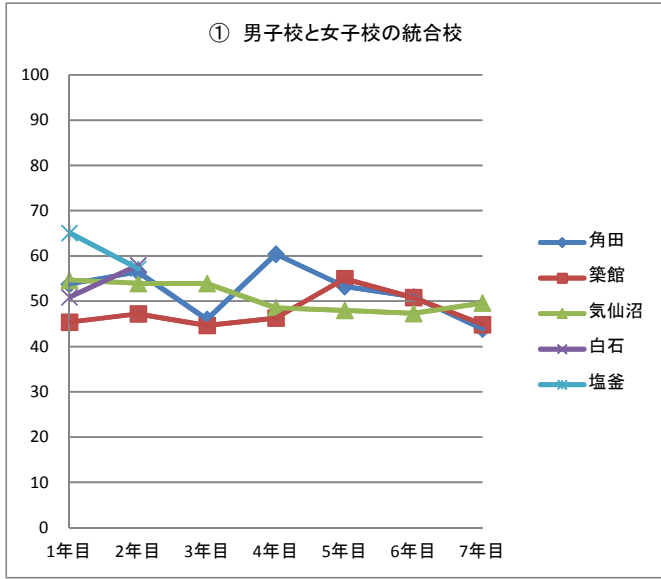
(備考)太線囲み部分は、共学化年度のデータ

網掛け部分は、石巻市立の高校であり、平成23年度現在の別学校。

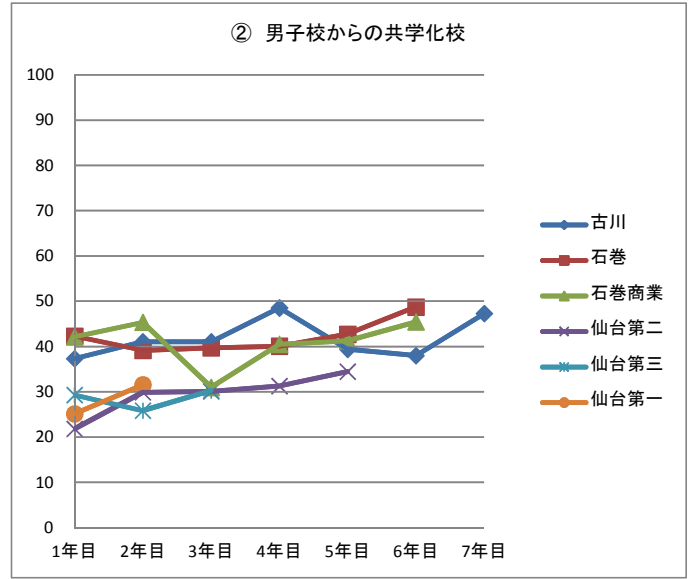
(資料)宮城県教育庁調べ、学校基本調査(文部科学省)

5. 生徒男女比の推移(1年次女子生徒の割合)(%)

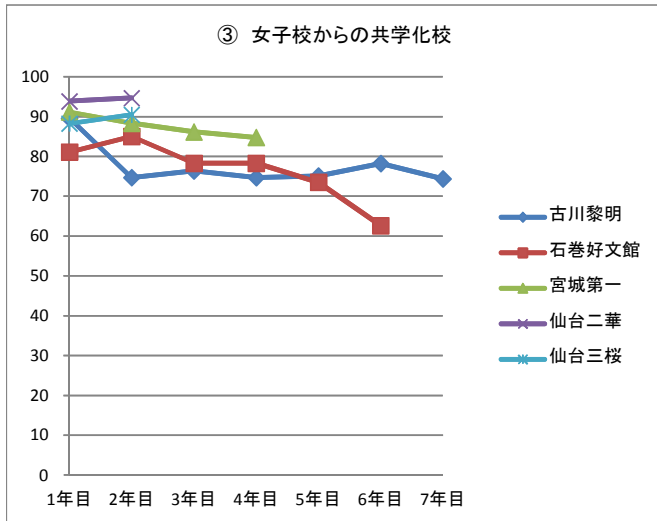
(1) 学校のタイプ別



	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
角田	53.8	56.5	46.0	60.4	53.3	51.0	43.9
築館	45.4	47.2	44.7	46.3	55.0	50.8	44.8
気仙沼	54.6	53.9	53.9	48.6	48.0	47.3	49.6
白石	50.9	58.0					
塩釜	65.1	57.2					
平均	50.6	50.4	50.1	50.4	50.9	49.4	46.5

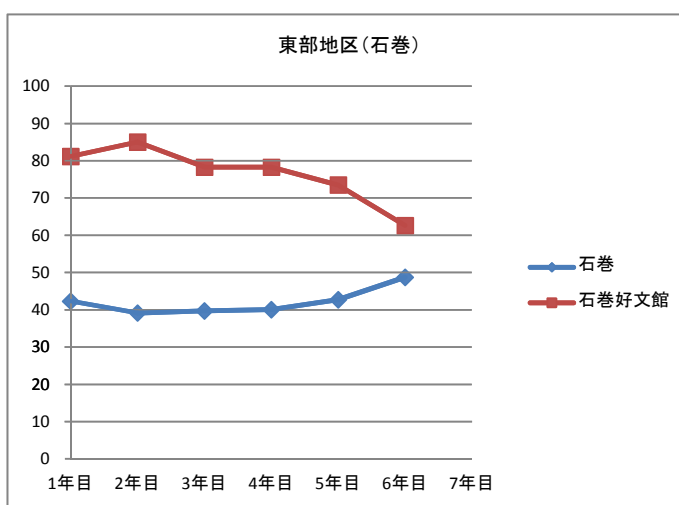
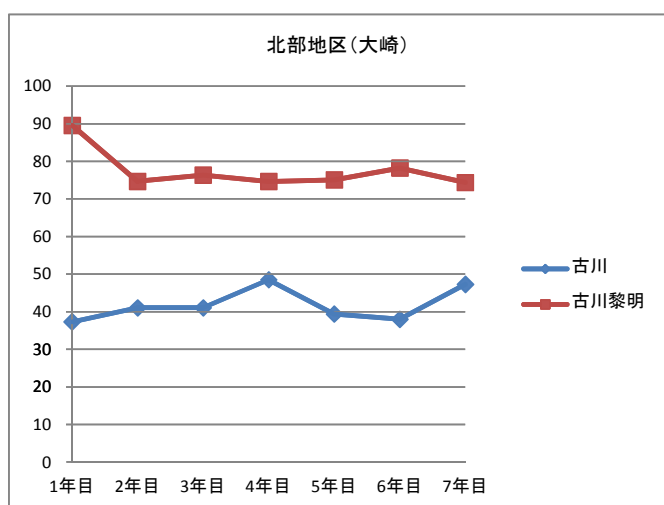
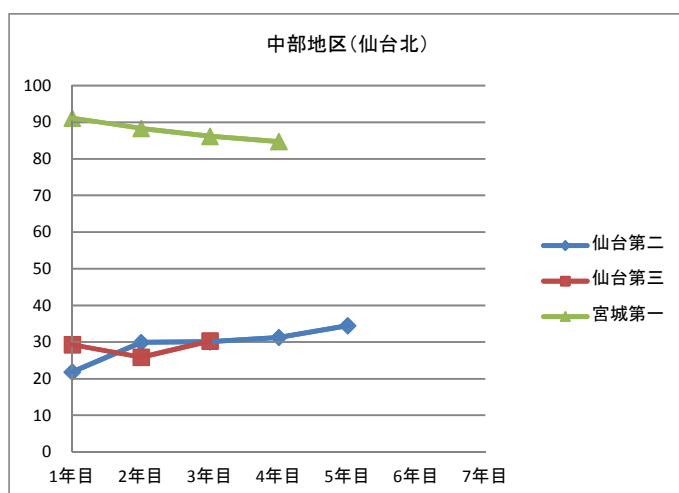
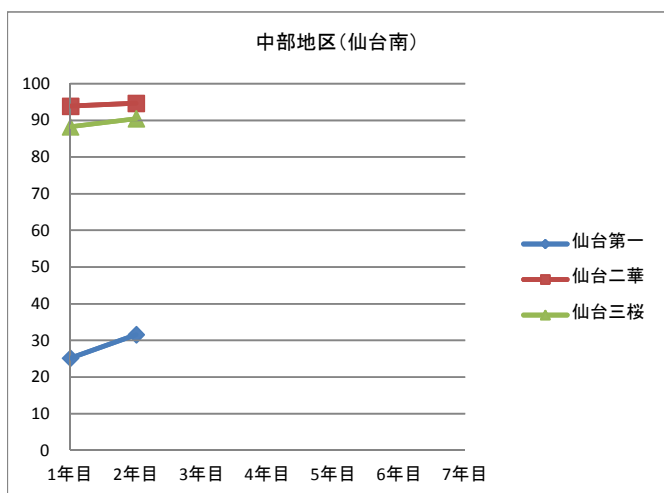


	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
古川	37.3	41.1	41.1	48.5	39.4	38.0	47.3
石巻	42.3	39.2	39.7	40.1	42.7	48.8	
石巻商業	42.2	45.4	31.0	40.5	41.3	45.5	
仙台第二	21.8	29.9	30.1	31.3	34.5		
仙台第三	29.3	25.9	30.3				
仙台第一	25.2	31.6					
平均	31.7	34.3	34.0	39.3	39.0	44.0	47.3



	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
古川黎明	89.6	74.7	76.3	74.7	75.1	78.2	74.4
石巻好文館	81.1	85.0	78.3	78.3	73.5	62.6	
宮城第一	91.2	88.3	86.2	84.8			
仙台二華	93.8	94.7					
仙台三桜	88.3	90.5					
平均	89.1	86.9	80.7	79.7	74.4	71.2	74.4

(2) 地区別

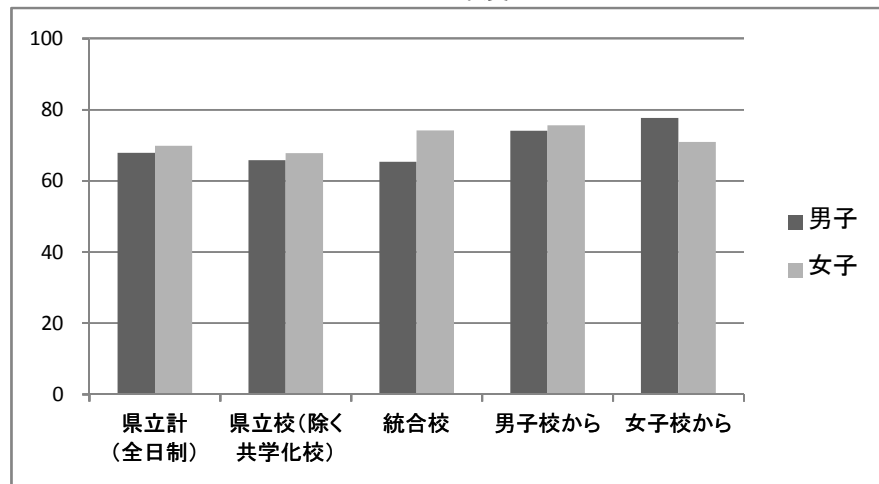


7. 学校評価

(1) 学校のタイプ別

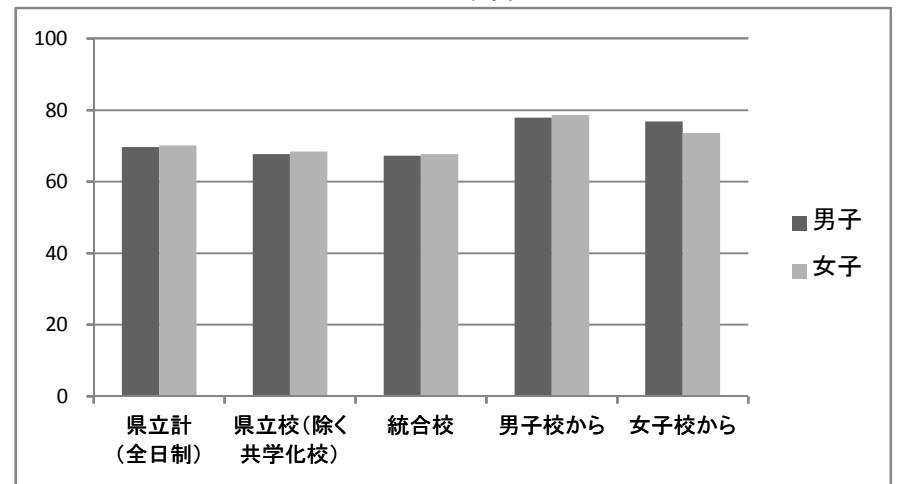
①「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	67.9	69.9
県立校(除く共学化校)	65.8	67.8
統合校	65.4	74.2
男子校から	74.1	75.6
女子校から	77.7	71.0

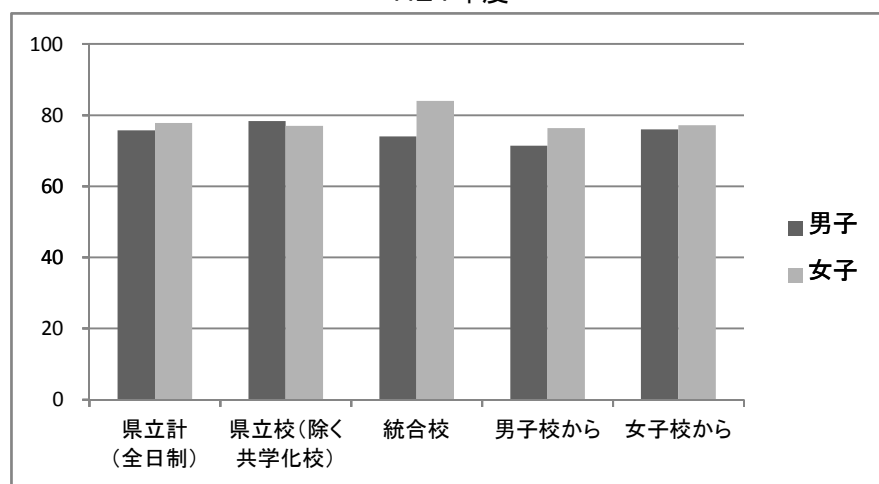
H22年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	69.7	70.1
県立校(除く共学化校)	67.7	68.4
統合校	67.3	67.7
男子校から	77.9	78.6
女子校から	76.8	73.6

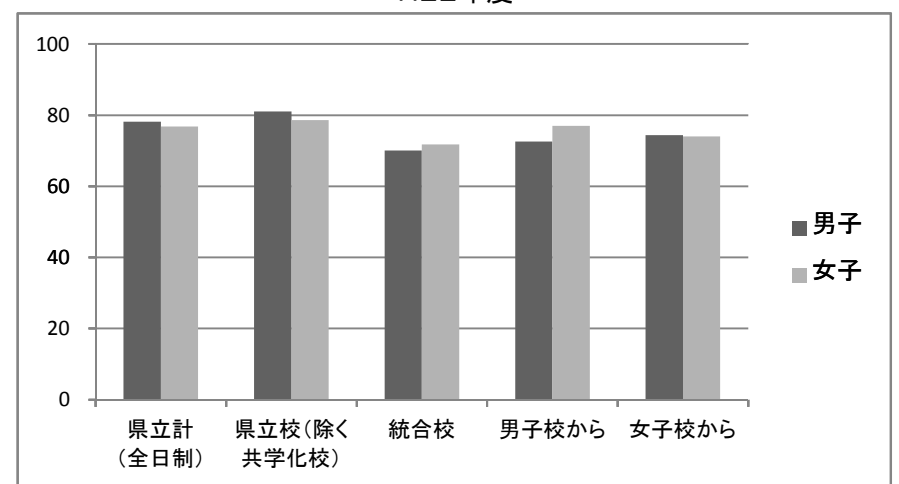
②「挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	75.7	77.8
県立校(除く共学化校)	78.3	77.0
統合校	74.0	84.0
男子校から	71.4	76.4
女子校から	76.0	77.2

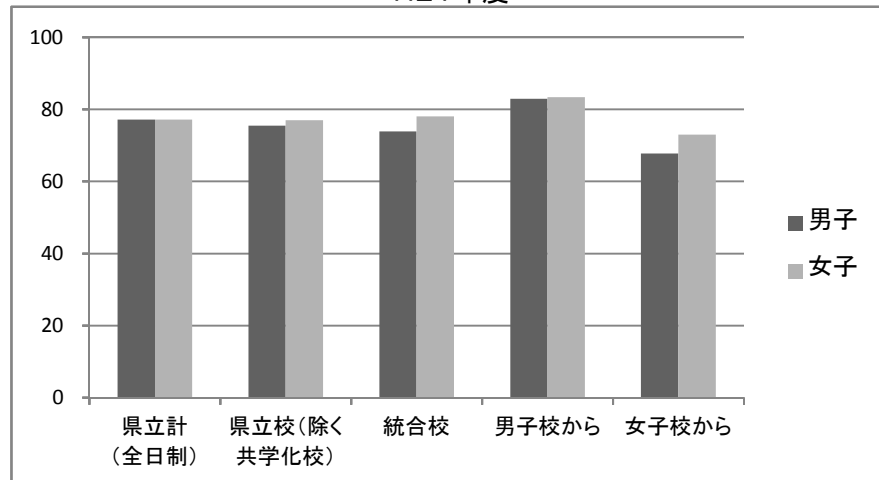
H22年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	78.2	76.8
県立校(除く共学化校)	81.0	78.6
統合校	70.1	71.8
男子校から	72.6	77.0
女子校から	74.4	74.0

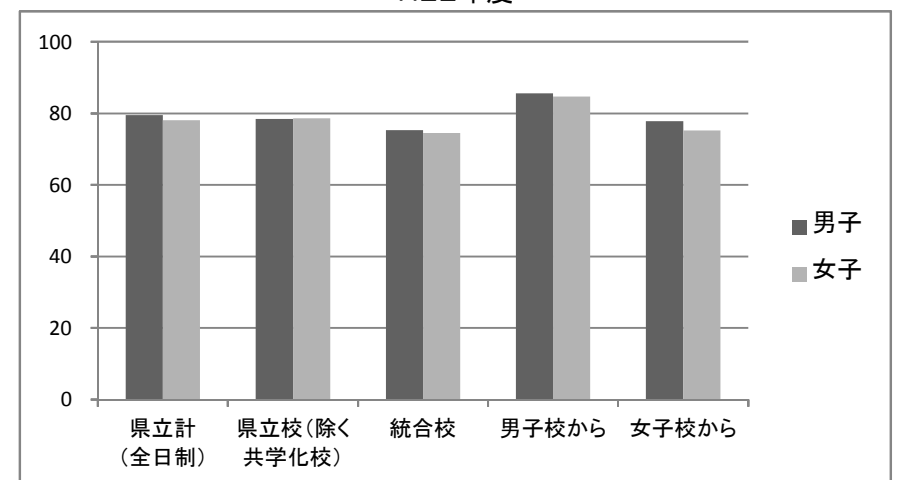
③「進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	77.2	77.2
県立校(除く共学化校)	75.5	77.0
統合校	73.9	78.1
男子校から	83.0	83.4
女子校から	67.8	73.0

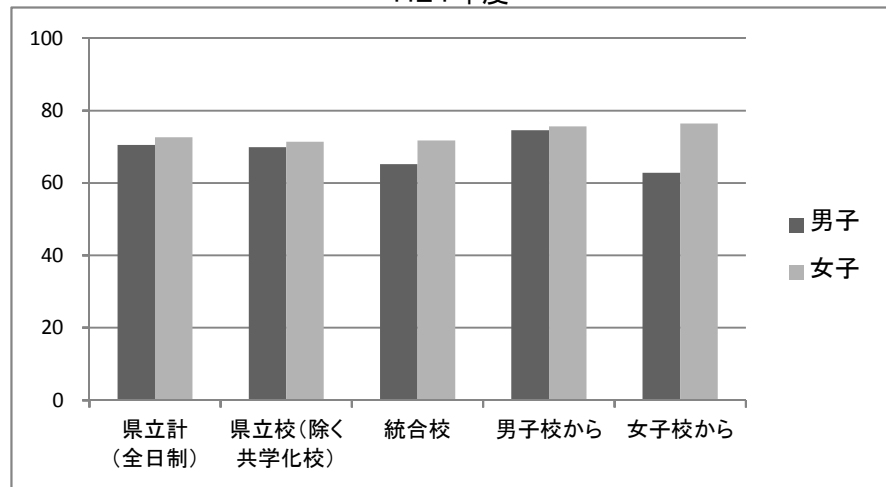
H22年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	79.5	78.1
県立校(除く共学化校)	78.5	78.6
統合校	75.3	74.5
男子校から	85.6	84.7
女子校から	77.8	75.2

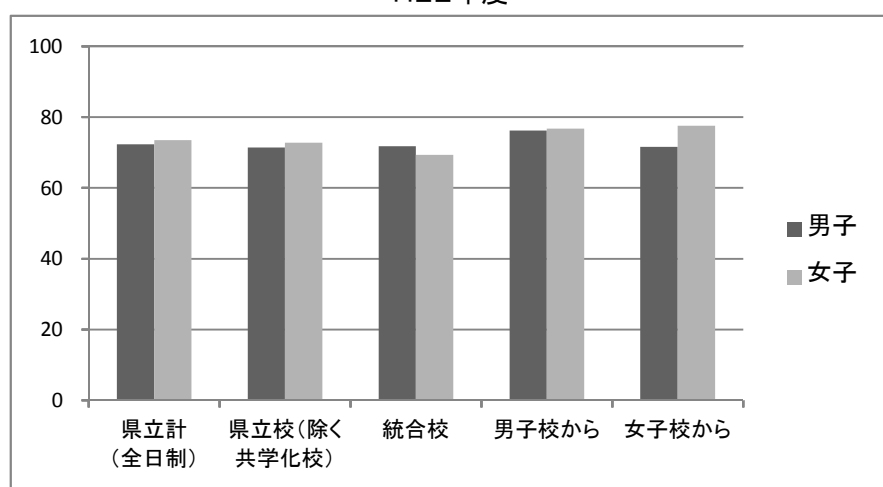
④「教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	70.5	72.6
県立校(除く共学化校)	69.9	71.4
統合校	65.2	71.7
男子校から	74.6	75.6
女子校から	62.8	76.4

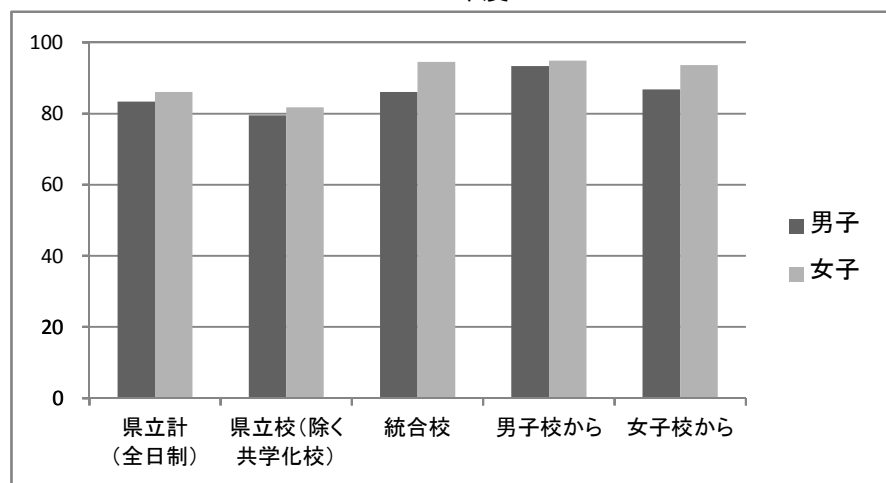
H22年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	72.3	73.5
県立校(除く共学化校)	71.4	72.8
統合校	71.8	69.4
男子校から	76.2	76.8
女子校から	71.6	77.6

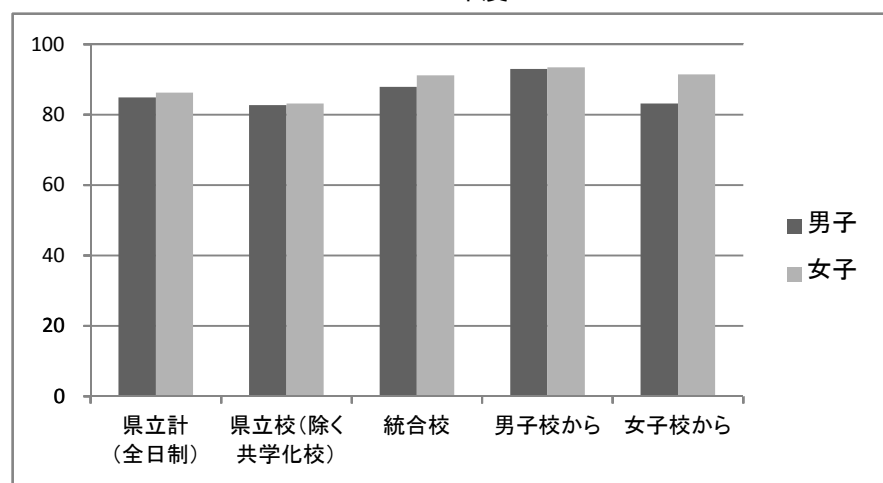
⑤「部活動は活発に行われている」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	83.4	86.1
県立校(除く共学化校)	79.5	81.8
統合校	86.1	94.5
男子校から	93.4	94.9
女子校から	86.8	93.6

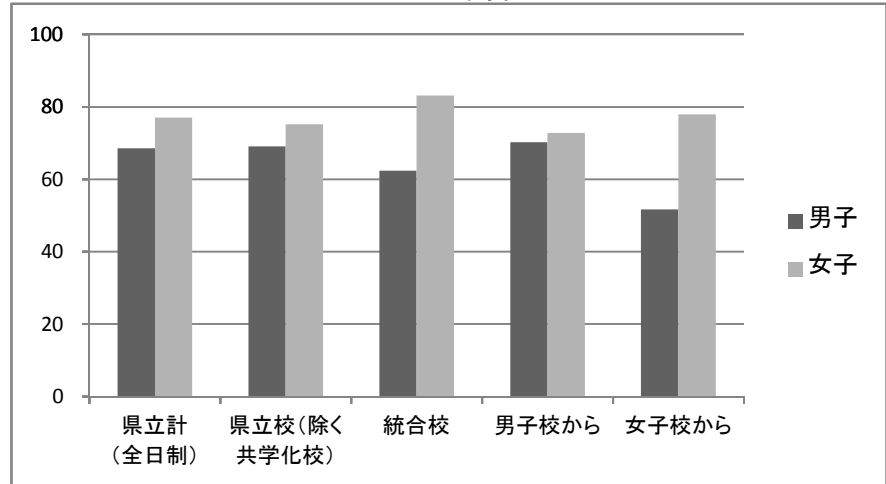
H22年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	84.9	86.3
県立校(除く共学化校)	82.7	83.2
統合校	87.9	91.2
男子校から	93.0	93.5
女子校から	83.2	91.5

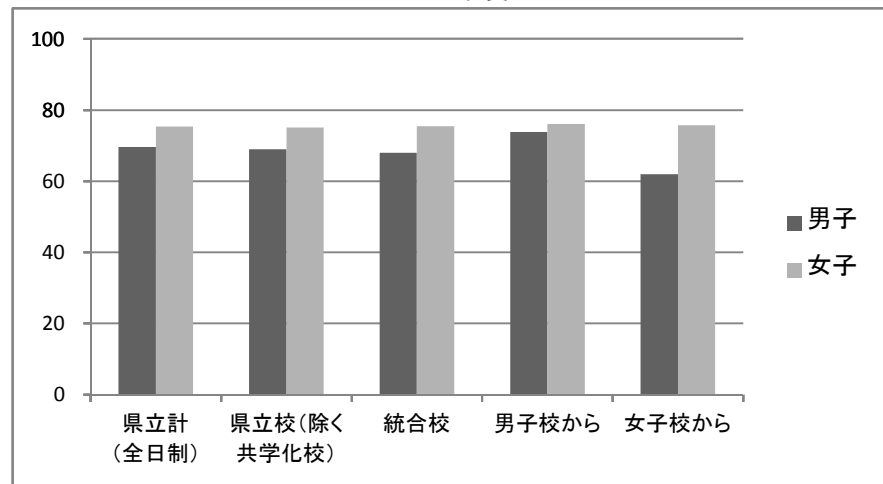
⑥「生徒会活動は活発に行われている」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	68.6	77.0
県立校(除く共学化校)	69.1	75.2
統合校	62.4	83.1
男子校から	70.2	72.8
女子校から	51.7	77.9

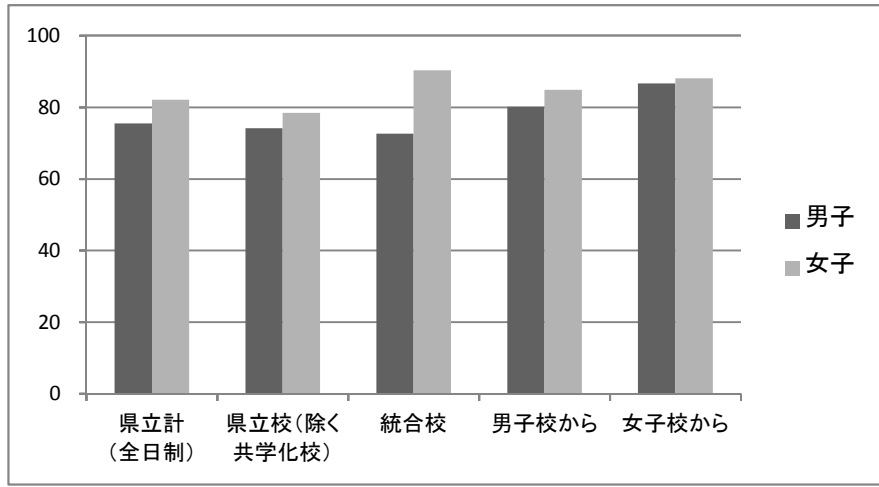
H22年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	69.6	75.4
県立校(除く共学化校)	69.0	75.1
統合校	68.0	75.5
男子校から	73.8	76.1
女子校から	62.0	75.7

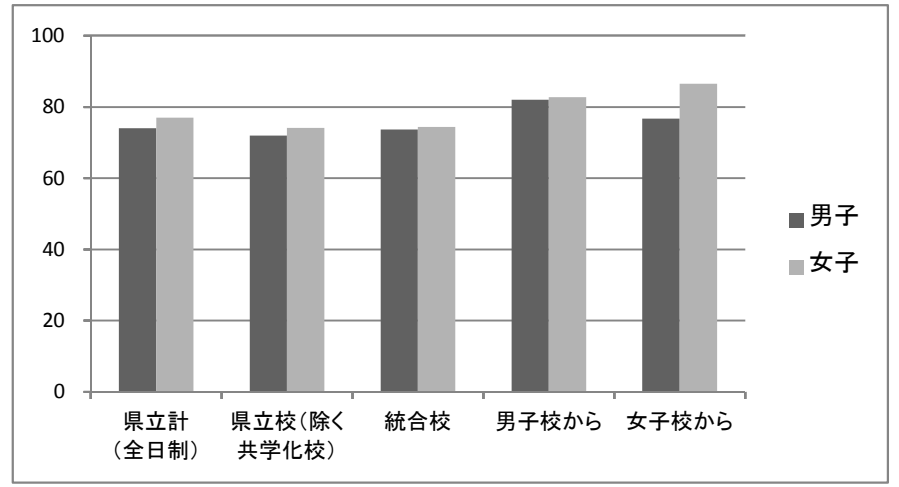
⑦「有意義な学校行事がある」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	75.5	82.1
県立校(除く共学化校)	74.2	78.5
統合校	72.7	90.4
男子校から	80.2	84.9
女子校から	86.7	88.1

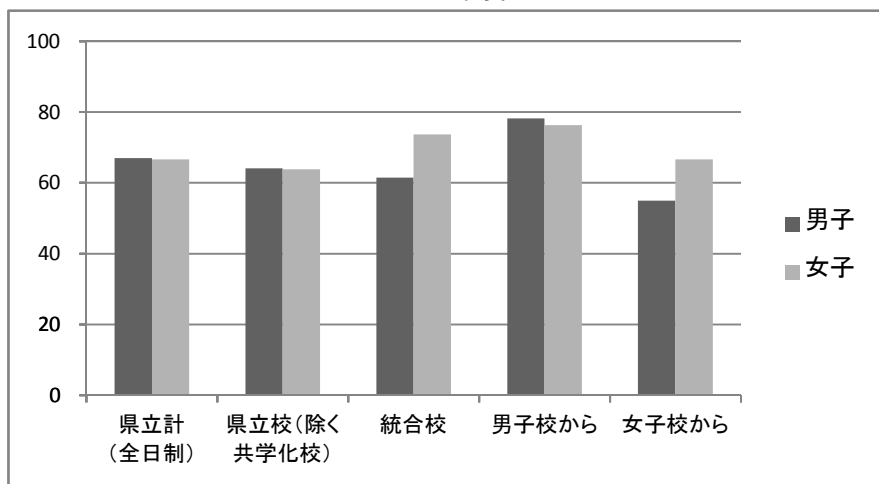
H22年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	74.0	77.0
県立校(除く共学化校)	72.0	74.1
統合校	73.7	74.4
男子校から	82.0	82.8
女子校から	76.7	86.5

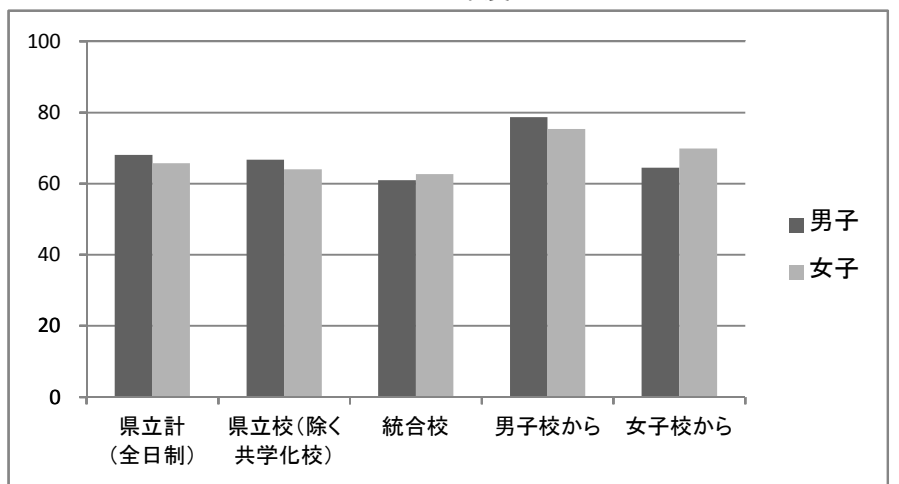
⑧「地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	67.0	66.6
県立校(除く共学化校)	64.1	63.8
統合校	61.5	73.7
男子校から	78.2	76.3
女子校から	55.0	66.6

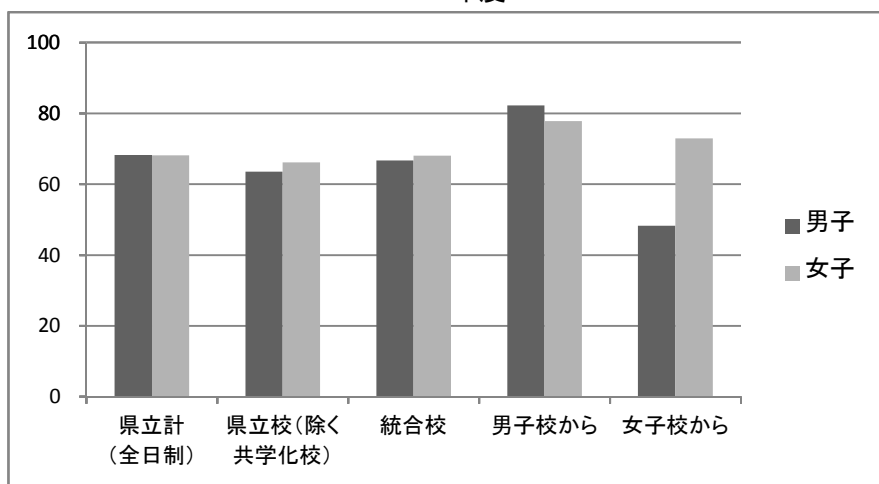
H22年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	68.1	65.7
県立校(除く共学化校)	66.7	64.0
統合校	61.0	62.7
男子校から	78.7	75.4
女子校から	64.5	69.9

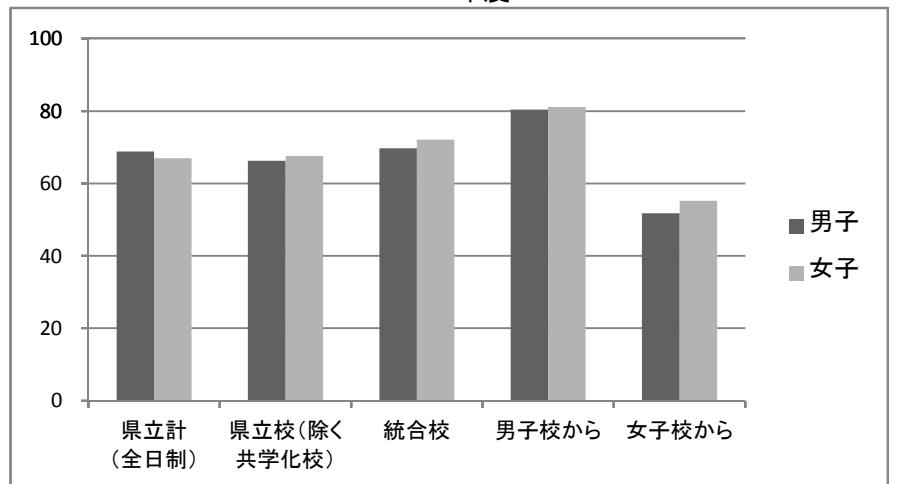
⑨「校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	68.3	68.2
県立校(除く共学化校)	63.6	66.2
統合校	66.7	68.1
男子校から	82.3	77.9
女子校から	48.3	73.0

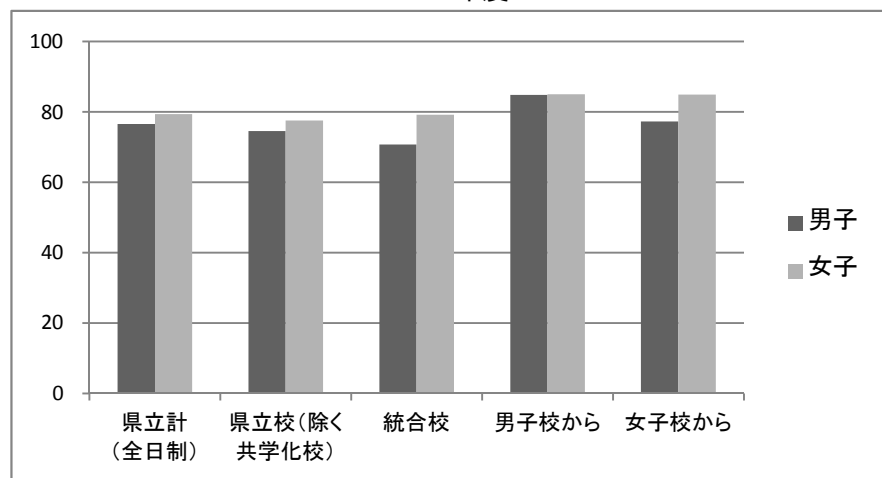
H22年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	68.8	67.0
県立校(除く共学化校)	66.3	67.6
統合校	69.7	72.1
男子校から	80.4	81.1
女子校から	51.8	55.2

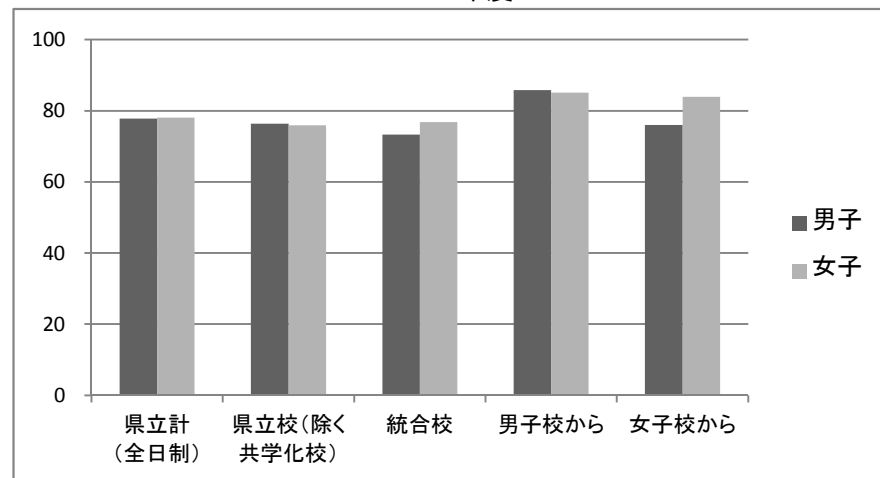
⑩「学校生活は充実している」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区 分	男子	女子
県立計(全日制)	76.6	79.4
県立校(除く共学化校)	74.6	77.6
統合校	70.7	79.2
男子校から	84.8	85.0
女子校から	77.3	84.9

H22年度



区 分	男子	女子
県立計(全日制)	77.8	78.1
県立校(除く共学化校)	76.4	75.9
統合校	73.3	76.8
男子校から	85.8	85.1
女子校から	76.0	83.9

10. 共学化校の沿革, 教育目標など(平成23年度公立高校ガイドブックから抜粋)

高校名	共学化年度	学校の概要	教育目標, 教育方針	学校行事, 生徒会活動	我が校のPRポイント(中学生向け)
統合による共学化校	角田	H17年度 ○平成17年度より角田高と角田女子高が統合再編になり, 新しい角田高校がスタートしました。 ○旧角田高校は, 明治30年5月に宮城県尋常中学校伊具郡立分校として, また旧角田女子高校は, 明治40年に宮城県伊具郡立角田女子実業学校として創立され, とともに100年の伝統を誇っていました。 ○両校の校風は脈々と受け継がれ, 両校卒業生は国内外の各界で活躍しています。	【教育目標】 ○人格の陶冶を図り, 生涯にわたって学び続ける力を養い, 地域社会のみならず日本や世界で活躍できる人材を育成する。 【教育方針】 ①学力の向上 ②心身の健康の増進と人格の陶冶 ③人間理解の推進	○主な行事 ・対白石高校定期戦(5月) ・球技大会(7月) ・文化祭(9月) ・大学出張講義(10月) ○何と言っても一番大きな行事は, 伝統ある定期戦です。対戦する運動部はもちろん, 一般生徒も生徒会・応援団を中心に全校一丸となり, 打倒白高に向けて全精力を傾けます。	○今年, 男子校と女子校の統合7年目を迎える新しい学校です。 ○「規律ある進学校」の合い言葉のもと, 恵まれた自然環境に囲まれて, 生徒は勉強と部活動の両立を目指して邁進しています。 ○また, 対白石高校との定期戦で味わう素晴らしい団結心と感動は, 他の高校では経験することはできないでしょう。
	築館	H17年度 ○平成17年4月, 築館高校と築館女子高校が統合し, 男女共学の「築館高等学校」が開校しました。 ○両校のよき伝統を受け継ぎながらも, 新しい高校として生まれ変わり, 生徒, 保護者, 地域の皆様の期待にしっかりと応えられる学校づくりをしています。	【教育目標】 ○地球社会の形成者として, 一人一人が他者への共感を持ち, 自ら研鑽を積み, 創造性と進取の精神を養い, 心身ともに健康な人間を育成する。 【教育方針】 ○学力の向上 ○進路目標の達成 ○豊かな人間性の涵養 ○地球社会人の育成	○主な学校行事 ・学習オリエンテーション合宿 ・古川高校定期戦 ・築高祭(合唱コンクール, 弁論大会) ・体育大会, 芸術鑑賞会 ・大学出前授業 ・修学旅行 ・一日大学体験 ○生徒会執行部はもとより, 全生徒が自分たちの活動の意義を理解し, 自分たちで考えて実行できる生徒会の育成を目指して積極的に取り組んでいます。	○築館高校は男女共学になり, 今年で7年目を迎えました。 ○「栗原の元気を築高から」というスローガンのもと, 全校生徒が自分の夢実現に向けて, 日々努力しています。 ○我が校は進学校であると共に, 部活動も熱心な文武両道の高校です。学習面では, 進学希望者のためのフロンティアクラスが設置され, 課外授業や勉強合宿など, 大学受験を意識して学習に取り組むことができます。 ○また, 部活動では毎年多くの部が県大会や東北大会さらにはインターハイに出場し, 築高の名を全国に轟かせています。 ○行事では, 対面式や定期戦, 築高祭などがあり, 特に定期戦では築高でしか味わえない達成感や感動を味わうことができます。
	気仙沼	H17年度 ○本校は, 昭和2年に県内9番目の旧制中学校として開校した旧気仙沼高校と, 大正12年に町立実科女学校として開校した旧県が浦高校が, 平成17年4月に再編統合されて開校した学校です。 ○両校の80年に及ぶ良き伝統を継承し, 活力ある教育活動や先進的な取組を展開しています。	【教育目標】 ○新しい時代に対応できる学力の形成を図り, 創造的能力の啓発に努め国家及び社会の形成者としての資質を養う。 ○心身を鍛え, 豊かな情操と協同の精神を培い, 個性の伸長を図る。 ○地域の自然や文化を尊び, 国際的視野に立ち活躍する人材を育成する。	○主な学校行事 ・オリエンテーション(4月) ・運動祭(7月) ・文化祭(8月) ・芸術鑑賞, 球技大会(10月) ・修学旅行(2年)(12月)	○「自分の夢が実現する学校」, 「地域の期待に応え, 全国に誇れる学校」を目指しています。大学進学を主眼としていますが, 生徒のニーズは公務員, 専門学校等多様で, それぞれががんばっています。 ○本校は県立高校ですが, 「地元の市教委や小中学校との距離が近い学校」, 「郡部にあっても文化的な水準の高い学校」でありたいと考えています。具体的には, 気仙沼市教委と連携しての国際交流事業や大学との連携事業に取り組んできました。
	白石	H22年度 ○本校は, 平成22年度に白石高等学校と白石女子高等学校の統合により誕生した2年目の新しい学校です。 ○進学重視型単位制の普通科と5年一貫教育の看護科を併設しています。創立111年の歴史を持つ白石高等学校と創立99年の歴史を持つ白石女子高等学校が統合することで両校の伝統が融合し, さらなる魅力が凝縮された学校が誕生しました。	【教育方針】 ○進学重視単位制普通科 ・新時代を切り拓くリーダーの育成 ・宮城県屈指の普通科単位制男女共学学校として, 国公立大を中心とした四年制大学進学を目指す。 ○5年一貫教育看護科 ・自覚と誇りある専門識者の育成 ・専攻科を有する県内唯一の男女共学高校看護科として5年一貫教育を通じて保健・医療・福祉の充実発展に貢献できる人材を育成する。	○本校を代表する行事として, 白角定期戦(角田高校との定期戦)と合唱祭(校内合唱コンクール)があります。 ・それぞれ男子校・女子校時代からおこなわれていた行事を統合後も行っているもので, 伝統と全校の一体感を共有するための大切な行事です。 ・定期戦は応援練習を含めた学校全体の行事として, 対戦相手の角田高校だけでなく地域住民も巻き込んだ季節の風物詩になっています。 ・合唱祭はクラスの団結をはかる大切な行事です。白高祭(文化祭)・体育祭(校内体育大会)は, 生徒による自主的な運営・活動に特徴があります。 ○学習活動以外の特別活動は, 生徒の自主的な活動で支えられています。その活動の中心が, 生徒会と応援団になります。時に厳しく, 時に優しく, リーダーとして全校生徒を引っばっています。	○「学び」のMと「問いかける」のTを組み合わせて本校では総合的学習を『M&Tタイム』と呼んでいます。具体的には, 将来の進路達成のための学習プログラムです。探究力や発信力を育成していきます。 ○白石高校には, 制服がありません。ただし, 「制服」とは異なる, スクールジャケットなどを着用して, 学校の公式行事や校外でのフォーマルな場面(面接試験, 冠婚葬祭等)では礼を失しない服装をすることを心がけてもらいます。 ○県内唯一の5年一貫の看護師養成機関です。20歳で看護師国家試験を受験します。他の養成機関と比較して最短で看護師の資格が得られます。看護師を目指す生徒一人ひとりの特性にあわせた指導を5年間でを行います。
男子校からの共学化校	塩釜	H22年度 ○本校は, 昭和18年に塩釜市立塩釜中学校として創設された塩釜高等学校と, 昭和4年に塩竈実科高等女学校として設立された塩釜女子高等学校の, 伝統校同士が平成22年4月に再編統合されて開校した男女共学の新しい高等学校です。 ○これまでそれぞれ地域社会の発展に貢献してきた両校の伝統を受け継ぐとともに, 統合によってさらに大きく発展していくことを目指しています。	【教育方針】 ○「志」: 遠大な志を持ち, 素直に勉強する。 ○「伸」: 個性を伸長し, 特色ある人物となる。 ○「和」: 和らぎの心を旨とし, 自他の人格を尊重する。 ○「創」: 物事に意欲を燃やし, 知性の開発と創意工夫に心がける。	○行事・生徒会活動・部活動については, 両校のものを統合して, よりよいものを試行錯誤しながら実施しています。 ○修学旅行や文化祭, 体育祭等は, 今までの伝統を継承しつつ新たなアイデアを盛り込み実施しています。	○本校は2つのキャンパス(校舎)を持つ全校生徒が1, 200名規模の県内最大の公立高校です。大規模校の利点を生かし, 多様な進路希望の実現ができる教育課程となっています。 ○また, 運動部, 文化部ともに活発に活動しています。充実した高校生活を過ごせます。
	古川	H17年度 ○明治30年に宮城県尋常中学校志田郡立分校として創立されて以来, 第三中学, 古川中学を経て古川高校となり, 平成23年に創立115年を迎えました。 ○創立以来, 大崎地方の教育・文化の中心として有為な人材を世に送り出し, 名実共に「仙北の雄」と称せられる歴史と伝統を誇っています。 ○自由闊達な校風で, 校章の由来となっている「蛭雪の功」の故事に倣って, 生徒は日夜, 「質実剛健」「学問尊重」「自主自律」の校訓の下で勉学と部活動に励んでいます。	【教育方針】 ○清潔にして健全な品性と学業を尊重する気風とを養い, 自主自律の精神を持って自発的に行動できるような豊かな人間を育成する。 ・健全な心身の育成 ・真理の探究 ・主体性の確立	○生徒の9割以上が大学進学を目標としながらも, 学業面の成長に加えて, 調和のとれた人間性の育成を目指しており, 部活動や生徒会活動はたいへん活発です。 ○また, 企画や運営においても生徒の自主性や意見が尊重されており, 一人一人が自分のやりたいことや個性を発揮できる自由で伸び伸びとした校風です。 ○主な生徒会関係行事としては, 対築館高校定期戦(4月), 船形山へのブナの森遠足(5月), 文化祭(7月), 体育祭(9月)などがあります。	○古高は, ①社会貢献できる人間の育成を目指す学校です。②勉強にも部活動にも全力で取り組み, 人間的成長と現役での進路希望の達成を目指す学校です。③仙北有数の進学校です。今春, 過去最高の92名が現役で国公立大学に合格しました。 ○学習面では, ①「自学自習」できる生徒の育成を目指します。②授業第一主義(毎日45分7コマで勝負!)です。③朝自習, 週末課題, 蛭雪講座, 土曜講習, 課外講習等で授業を深化させます。 ○3大行事として, (4月)対築館高校定期戦, (7月)古高祭, (9月)体育祭があります。そのほか, 1年生は(5月)船形山登山, 2年生は(12月)修学旅行があります。

高校名	共学化年度	学校の概要	教育目標、教育方針	学校行事、生徒会活動	我が校のPRポイント(中学生向け)
男子校からの共学化校(つづき)	石巻	H18年度 ○同窓生が、誇りと愛校心を込めて母校を「鰐陵」と呼び親しんでいる本校は、大正12年「宮城県石巻中学校」として開校されて以来、石巻地区の拠点校として各方面に有為な人材を多数輩出しています。 ○「質実剛健・進取独創・自ら進運を開拓すべし」という生徒心得綱領が古くから語り継がれ、自由闊達な気風がみなぎっています。 ○自主・自律を尊ぶ校風が受け継がれ、生徒の間では学年を越えた健全で明朗な友情を育んでいます。 ○服装については、社会的常識を逸脱しない、良識ある服装であることとし、各自の判断に任せています。	【教育目標】 ○高い英知と豊かな情操を養い、不屈の意志と自主自立の精神に充ちた、心身ともに健全な調和のとれた人格形成を図る。 【教育方針】 ○あらゆる指導を通して、高い英知と豊かな情操と不屈の意志を育成し、高朗爽快な気風を馴致する。 ○教科指導を徹底し、自主的な学習意欲と探究心を喚起し、学習の充実を図る。 ○信頼と友愛による人間関係を確立し、公德心および自他尊重の精神を涵養する。	○生徒会の活動は、生徒会総務や代議員を中心に運営されています。 ○特に体育祭・球技大会・文化祭等は生徒会を中心に生徒自らがその企画・運営に当たり、毎年盛大に開催され、名物行事になっています。	○石巻高校は長い伝統を持ち、優れた人材を多数輩出してきた県下有数の進学校です。 ○生徒は石高生としての誇りを持ち、自らの進路希望実現を目指すとともに、地域の期待に応えるべく日々努力を続けています。 ○教職員と生徒の関係も互いの信頼と熱意に支えられた素晴らしい学校です。
	石巻商業	H18年度 ○本校は明治44年(1911年)に石巻町立商業補習学校として創立され、本年度で100年を迎える歴史と伝統を持つ商業の専門高等学校です。 ○この間、卒業生は1万4千名を超え、地域経済界は言うまでもなく全国各地・各方面で活躍しております。 ○平成18年度から男女共学となり、『総合ビジネス科』(定員:200名)となりました。	【教育方針】 ○将来の社会生活において自己実現を図りながら、社会貢献できる人材の育成を目指す。 ○生徒の人格の形成は以下の3点を目標とする。 ・他人の価値観を認め、かつ自らの考えを持って行動する ・自ら進んで物事に取り組む ・タフで明るい性格 【教育環境の整備方針】 ○「地域に好感を持って迎えられられる学校」を心がけ、「生徒が誇りにできる魅力ある石巻商業高校」を目指す。 ○教職員の輪と総力を挙げての学校運営により教育内容の改善に果敢に取り組み、本校を中心とした地域社会と連携と信頼され支援・協力が得られる学校づくりを目指す。	○主な学校行事 ・商祭(弁論大会含む) ・体育祭 ・クロスカントリー大会 ○生徒会の役員を中心として生徒の自主的な活動が行われています。	○創立100周年を迎えた歴史と伝統のある高校です。 ○先生と生徒、生徒同士が思う存分に勉学に、スポーツにとぶつかり合える人間味あふれた学校です。 ○平成23年度 石商生チャレンジ「品格を育む高校生活」さわやかなあいさつ、端正な身だしなみ「切磋琢磨の高校生活」切磋琢磨とは学問やスポーツに努め励むこと。また仲間同士で励まし競い合って向上すること。自分の素質をたゆまぬ努力によって磨き上げ、学問にスポーツに励もう！このような目標を持って頑張っています。
	仙台第二	H19年度 ○明治33年に宮城県第二中学校として創設以来、百十余年の歴史と伝統を有する学校です。	【教育方針】 ○人格を錬磨し、国際社会に貢献しようとする人材の育成(学習) ・授業中心の学習態度と自ら学ぼうとする積極的態の涵養 ・知的探求心の高揚、学問的・人間的視野の拡大(生活) ・規律ある集団生活の中での人間性の育成 ・個々の心身両面にわたる資質の伸長(進路) ・自己実現に向けての適切な進路目標の確立 ・志望達成への努力	○主な学校行事 ・大運動会(4月) ・仙台二高・一高定期戦(5月) ・岩手山登山(1年生)(7月) ・北陵祭(文化祭)(8月) ○生徒会活動 ・生徒会は生徒の自主活動の場であり、自由な雰囲気の中、生徒自らの手によって活発に運営されています。 ・年2回の総会では激論が展開され、また12ある委員会も活発に活動しています。 ・また、北陵祭における実行委員の活躍は伝統として引き継がれています。	○長い歴史と伝統を持ち、優れた人材を世に輩出してきた本校は、生徒が教職員に厚い信頼を寄せ、教職員もそれに熱心に応えるという、良き師弟関係によって成り立ってきた自由闊達な学校です。 ○ほぼ全員が大学進学をめざしていますが、部活動も盛んです。「文武一道」の精神を受け継いでいるからです。 ○本校は平成19年4月から男女共学、また平成22年4月からは全県一学区となり、「全国屈指の進学校」を目指して、新たな一歩を踏み出しました。
	仙台第三	H21年度 ○昭和38年に全日制普通科男子校として開校し、昭和43年には県内初の理数科が設置され、さらに平成21年に男女共学となりました。	【教育方針】 ○健全な心身の育成に留意し、明朗にして和に富む生活を確立する。 ○常に原点にたち、事象を探究する態度を涵養する。 ○自主自律の精神を培い、創造への意欲を昂揚する。	○主な学校行事 ・芸術鑑賞会(6月) ・体育大会(球技)(7月) ・三高祭(9月) ・体育大会(陸上)と校外研修(1,2年生)(10月) ・3年生を送る会(2月) ・理数科には課題研究の発表を行う「理数科の日」 ○生徒会行事はこの生徒会役員を中心に、生徒の手によって行われます。	○仙台三高は長年にわたり男子校として、県内のみならず全国的にも高い評価を得てきましたが、平成21年度から男女共学校となり、新たな一歩を踏み出しています。 ○堅実な校風を踏襲しつつも、現在、「新校舎の完成」「男女共学化」「SSHの指定」を機会に、「新生仙台三高」の旗印の下、全員が「チーム仙台三高」を言葉に勉強に部活動に頑張っています。 ○昨年度よりスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、東北大学や宮城教育大学等と連携し、先端的な理数科教育を推進しているとともに、ほとんどの生徒が国公立大学への進学を希望している状況にあり、進学指導を徹底して行っています。

高校名	共学化年度	学校の概要	教育目標, 教育方針	学校行事, 生徒会活動	我が校のPRポイント(中学生向け)
仙台第一	H22年度	<p>○本校は、明治25年4月1日、宮城県尋常中学校として創立しました。初代校長は、国語辞書『大言海』の編集で知られる大槻文彦先生です。</p> <p>○校名も、宮城県第一中学校、宮城県仙台第一中学校を経て昭和23年4月に宮城県仙台第一高等学校となりました。</p> <p>○平成22年4月に男女共学となり、女子183名を含む956名の生徒が学んでいます。全日制課程の卒業生は、28,000名以上に及んでいます。</p>	<p>【教育目標】</p> <p>○教育基本法並びに学校教育法に則り、人格の完成をめざし、社会に対する健全な批判力を養い、自主自立の精神に充ちた心身ともに健康な、国家及び社会の有為な形成者を育成する。</p> <p>【教育目標を達成するための方法】</p> <p>①1学年での幅広い教科学習の上に立って、2学年・3学年では、大幅な教科・科目選択制の下で、生徒各自の進路希望に応じた学習に取り組むこと。</p> <p>②生徒全員がいずれかの部活動に所属して活動し、学習活動との両立をめざすこと。</p> <p>③発起人制度を取り入れた生徒会活動および学校行事において、生徒が自主的・意欲的に活動すること。</p>	<p>○本校では、次のような特色ある学校行事を実施し、自己を見つめ、互いに磨きあう機会の一つにしています。</p> <p>・「運動祭」は、各学年縦割りの8チームを編成し、ユニークな競技と応援とを競い合います。</p> <p>・5月中旬の「仙台一・二高硬式野球定期戦」は、杜の都の伝統行事としても知られ、応援合戦にも力が入ります。</p> <p>・10月中旬には、学校から秋保温泉までの約40キロを6～7時間かけて歩走する「強歩大会」があります。美しい自然に囲まれながら浩然の気を養い、心身の強さや完歩した爽快感を実感できます。</p> <p>・このほかにも一高祭、校内競技大会、芸術鑑賞会、東北大学公開講座、東北大学学部学科説明会など多彩な行事があり、充実した学校生活を味わえます。</p> <p>○生徒会活動は盛んで、生徒総会を中心に、評議委員会、総務委員会、会計委員会、文化委員会、特別委員会などの組織を通じて、自主的・民主的に運営されています。</p> <p>○また、大きな特色として、発起人制度があり、運動祭・一高祭などの行事や生徒会誌『創造』の編集においては、その企画・運営を希望する生徒たちが、生徒総会の承認を得て公的な立場を与えられ、積極的に取り組んでいます。</p>	<p>○本校では学校の諸活動において、生徒の自主自立に基づく活動を尊重し、それを奨励・育成しています。</p> <p>○自由な校風と自重献身、自発能動の精神に溢れる高校生活を送った多くの卒業生は、国内外で学術・芸術・財界・政界等さまざまな分野をリードする立場で活躍中です。</p> <p>○平成22年度に男女共学となりましたが、これまでの伝統・校風を継承発展させつつ、今後ともリーダーとして次代を担う資質を身につけるための教育を行っています。</p>
古川黎明	H17年度	<p>○大正9年の創立以来、女子教育の拠点校として長い歴史と伝統を持つ本校は、男女共学併設型中高一貫教育校として平成17年4月に新たな出発をし、創立7年目になります。</p> <p>○この春に一貫教育の第1期生が卒業し、高校からの入学生とともに生徒会活動や学校行事、部活動で活躍したばかりでなく、進路実績にも大きな足跡を残してくれました。</p> <p>○在校生はその1期生を越えようと日々努力しています。</p>	<p>【教育方針】</p> <p>○創造力の育成:学んだことをもとにすすんで課題を見つけ、解決していく生徒を育成する。</p> <p>○自主・自立の精神の育成:しっかりと自分をもって、未来に立ち向かっていく生徒を育成する。</p> <p>○共生の心の涵養:地球に生きる一員として、互いを知って、共に生きようとする生徒を育成する。</p>	<p>○生徒会行事も盛んで、体育祭(高校生のみによる球技大会と、中高合同の陸上競技大会)、黎明祭(中高合同の文化祭)は、自主的に企画・運営され、全校をあげて盛り上がる一大イベントとなっています。</p> <p>○中高合同の体育祭は中高一貫行事と位置付けられており、中学生と高校生が積極的に交流できる行事として運営されています。</p> <p>○共学になってからつくられた男子の部活動も盛んになりました。野球部、サッカー部などが活発に活動しています。また、中学生との交流も盛んです。</p> <p>○多くの部活動で、中高合同で活動する場面があり、互いに良い刺激を受け合い、共に成長する姿が見られます。</p>	<p>○「おはようございます！」の挨拶がいつも聞こえてきます。母体校である古川女子高校以来の伝統です。受け継いだものは挨拶だけではありません。白梅賦(苦寒風雪ををかしてひらき争はずして百花のさきがけをなす)の精神のもと、中学生も高校生も、元気に学習・部活動・行事に取り組んでいます。</p> <p>○文武両道と自主自立の精神が、本校のモットーです。</p>
石巻好文館	H18年度	<p>○明治44年に石巻町立石巻実科高等女学校として設立され、今年で創立100年を迎えた県内有数の伝統校です。</p> <p>○昭和23年に宮城県石巻女子高等学校となり、同年7月に定時制課程も設置されました。平成18年度入学生より男子生徒も募集し、男女共学の宮城県石巻好文館高等学校と校名を変更しました。</p> <p>○平成20年3月、定時制課程は60年の歴史に幕を降ろし、現在は全日制課程普通科のみの学校となっています。</p>	<p>【教育方針】</p> <p>○本校の歴史と伝統を尊重し、規律ある日常生活の下に、信頼と友愛により結ばれた人間関係をつくる。</p> <p>○進路目標を達成するとともに、自主的な学習活動を支援する。</p> <p>【教育環境の整備方針】</p> <p>○創立100周年を迎えて、さらに健康で気品高い校風を培い、その中で精錬された情操を養い新しい伝統を築く。</p>	<p>○生徒会長を中心に、文化祭などの各行事を自主的に企画・実行しています。球技大会や運動会では、クラス毎にユニホームを作って大いに盛り上がります。</p> <p>○近年では、陸上競技、弓道、硬式野球など男子の部活動も活発になってきています。</p>	<p>○石巻好文館高は、白梅の校章のもと、ふくいくたる個性あふれた生徒たちが、各自の自由を尊重しながら勉強・部活動にがんばっています。</p> <p>○有名大学への進学者も多く、部活動においては、インターハイなどの全国大会出場を果たす部もあるほど立派な成績を残しています。このように勉強・クラブ活動・生徒会活動のバランスのとれた高校です。</p>
宮城第一	H20年度	<p>○明治30年に仙台市高等女学校として開校し、昭和23年に宮城県第一女子高等学校と改称しました。</p> <p>○平成9年に理数科2学級を設置し、平成19年6月に創立110周年記念式典を挙行し、平成20年4月からは男女共学・単位制の宮城第一高等学校と改称し新たなスタートを切りました。</p>	<p>【教育環境の整備方針】</p> <p>○創意と活力に満ちた特色ある学校づくりにむけ、教育活動全体の計画的・組織的研究を推進する。</p> <p>○授業を第一に据えた学習指導を充実させ、学習指導要領に基づいて生徒一人ひとりの可能性に共感し能力を伸張させる教育課程の編成とその実践を重視する。</p> <p>○共通理解に基づいた生徒指導を展開するとともに、個性を生かすための教育相談体制の充実を図る。</p> <p>○早期の進路目標の確立と学力向上に向けて組織間の連携を強め、自己理解と自己実現を図る指導を推進する。</p> <p>○生徒の探求する姿勢や高度な能力を育成するため、大学などの高等教育機関との連携を強化していく。</p> <p>○114年の歴史と伝統をふまえつつ、男女共学に伴う学校運営の充実を図り、進学重視型単位制高校としての実務的・具体的な取組を推進する。</p>	<p>○本校には、夏休み前にクラス毎に創意工夫に溢れる歌や踊り、絢爛たる衣装を競い合う『歌合戦』をはじめ、特色のある行事が沢山あります。</p> <p>○行事の多くが校友会の委員会の自主的な活動によって運営されていることに他校にはない大きな特色があります。</p>	<p>○創立114年目の本校は、3万名を超える卒業生を世に送り出し、多くの人材が様々な分野の第一線で活躍しています。そうした先輩方の応援も本校の大きな力です。そして、これからも社会のリーダーとして貢献しうる人材を輩出していきます。</p> <p>○長い歴史の中で受け継がれてきた自主・自律の校風のもと、学習・部活動・学校行事に、生徒・教職員ともに全力を尽くす学校です。共学・進学重視型単位制高等学校となってもこの校風を大事にしています。</p>
仙台二華	H22年度	<p>○本校は明治37(1904)年に私立東華女学校として開校し、その後県立の宮城県第二高等女学校と合併、昭和23(1948)年には、学制改革により宮城県第二女子高等学校と改称、平成16(2004)年には、創立百周年記念行事が盛大に行なわれました。</p> <p>○平成22年度からは、新たに男女共学、併設型中高一貫教育校の仙台二華中学校・高等学校として開校しました。</p> <p>○創立以来の文武両道の精神と、自由で明るく親しみやすい生徒の気質、地道ながらも誠実で礼儀正しい伝統の気風は現在も受け継がれています。</p>	<p>【教育目標】</p> <p>○豊かな心と高い知性をもち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。</p> <p>【教育方針】</p> <p>○豊かで高い知性を養い、主体的・創造的に学ぶ生徒の育成</p> <p>○礼節と品性を尊び、心豊かで包容力をもつ個性あふれる生徒の育成</p> <p>○真理と正義を愛し、未来を切り拓き世界に貢献できる生徒の育成</p> <p>○健やかな心身を育み、国際社会の中でたくましく生き抜く生徒の育成</p>	<p>○学校行事では伝統の行事として生徒が主体的に関わる意気の上がる文化祭・体育大会・合唱コンクールが、中学校と高等学校の合同行事として実施されます。</p> <p>○本校はユネスコスクールとして世界と交流していきます。IS・SRの集大成として海外研修旅行(シンガポール方面)が実施され、今年度3月にはアメリカ、ミドルタウン高校との海外姉妹校交流(ホームステイ)が実施される予定になっています。</p>	<p>○仙台二華高等学校は「限りない未来への挑戦」をかかげ、世界で活躍する骨太の人材を育てる学校として開校しました。</p> <p>○今年度11月には第1回シンガポール研修旅行、また、3月にはアメリカデラウェア州のミドルタウン高校との姉妹校締結が予定され、仙台二華の生徒20名が渡米し交流事業としてホームステイ語学研修が実施されることになっています。</p>

女子校からの共学化校

高校名	共学化年度	学校の概要	教育目標, 教育方針	学校行事, 生徒会活動	我が校のPRポイント(中学生向け)
仙台三桜	H22年度	<p>○本校は大正13年2月に宮城県第三高等女学校の設立認可を受け、宮城県女子師範学校に併置され4月に開校しました。昭和23年4月新しい学制に伴い、宮城県第三女子高等学校となりました。</p> <p>○校訓「自律・聡明・敬愛」は人間性豊かな三桜高生の理想像を表しています。親密な人間関係の中で、生徒達はそれぞれの目標を持ち、たくましく明るくのびのびと学校生活を送っています。</p> <p>○男女共学化に伴い、新生「仙台三桜高校」として、22年度に31名、23年度には27名の男子生徒が入学し、女子とともに授業や行事、部活動で活発に活動しています。</p>	<p>【教育目標】</p> <p>○豊かな情操と高い品性を持ち、真理と正義を愛し、勤労と責任を重んじ、互いに他を尊重し、自主的精神と実践力に富む、健康明朗な人間を育成する。</p> <p>【教育方針】</p> <p>○自主的にものを考え、合理的に処理する能力を養う。 ○積極的に行動し、困難にうち克つ強い意志力を養う。 ○自信をもって事にあたり、他と協調する態度を養う。 ○個性の伸長をはかり、公共の福祉に貢献する態度を養う。 ○適性・能力に応じて、自主的に進路を選択決定する能力を養う。</p>	<p>○本校の努力目標の一つ「学級と生徒会の活動に積極的に参加し、伝統ある校風を維持するよう、自覚ある行動をする」に沿って、生徒会活動は活発に行われています。</p> <p>○生徒会執行部を中核として各種委員会が設置されており、例えば体育大会や合唱コンクールではレクリエーション委員会が、文化祭では三桜祭実行委員会が運営の主体となり活躍しています。</p> <p>○これらの行事では、全校生徒が一丸となって積極的に参加し、大いに盛り上がるのが第三女子高校時代から続く伝統の一つとなっています。</p> <p>○景品の大幅や板チョコを目指して全員が情熱的に競技や応援に取り組み、クラスの団結や友人との絆を深めながら、高校生活を豊かなものにしていくことができます。</p>	<p>○授業中の真剣なまなざし、明るく元気な笑顔、周囲の友人を思いやる優しさ、何事にも活発に取り組む行動力。第三女子高校から仙台三桜高校へと学校名は変わりましたが、伝統的に続く本校生徒の素晴らしい気質はまったく変わっておらず、本校最大のPRポイントといえるでしょう。</p> <p>○共学化により1、2学年に男子生徒が加わったことで新鮮な雰囲気生まれ、その中で新しい伝統が創りあげられているところです。</p> <p>○これまでの長い歴史の中で積み重ねてきた運動や文化・芸術面での輝かしい成果に加え、学習面においても課外講習や土曜学習会などの新しい取り組みが次々と始まり、学力向上に向けて学校全体で意識が高まってきています。「学習と部活動の高いレベルでの両立」を合い言葉に、生徒たちと教職員、保護者や同窓生の方々が一丸となって新しい学校づくりに取り組んでいます。</p>

(資料)「平成23年度公立高校ガイドブック」(宮城県教育庁)

(参考)男女共学化に当たっての教育庁の取組

施策の目的	施策の内容	施策目的を達成するために実施した教育庁の取組																														
		取組名	事業の内容	行政評価(平成21年度事業)																												
<p>○県民の負担で設置されている公立高校において性差による入学制限を撤廃する。</p> <p>○高校生という多感な時期に、男女が共に学び、理解し、成長し合う場を日常的に設ける。</p>	<p>○将来構想では、「男女別学校については、校舎の改築や学科改編、再編などを機に、対象校ごとに関係者の理解を得ながら、順次男女共学化を進めていく」とし、平成22年度までにすべての県立高校が共学化された。</p> <p>■共学化対象校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>統合共学化</th> <th>単独校の共学化</th> <th>中高一貫校への改編</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>角田・角田女子 築館・築館女子 気仙沼・鼎が浦</td> <td>古川</td> <td>古川女子</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td></td> <td>石巻 石巻女子 石巻商業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td></td> <td>仙台第二</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td></td> <td>第一女子</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td></td> <td>仙台第三</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>白石・白石女子 塩釜・塩釜女子</td> <td>仙台第一 第三女子</td> <td>第二女子</td> </tr> </tbody> </table>	区分	統合共学化	単独校の共学化	中高一貫校への改編	H17	角田・角田女子 築館・築館女子 気仙沼・鼎が浦	古川	古川女子	H18		石巻 石巻女子 石巻商業		H19		仙台第二		H20		第一女子		H21		仙台第三		H22	白石・白石女子 塩釜・塩釜女子	仙台第一 第三女子	第二女子	<p>—</p>	<p>○施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ、更衣室、部室を整備 ・旧女子校の運動場の拡充 ・建築経過年数により、校舎改築(40年経過)、校舎等大規模改造(25年経過)を実施。 	<p>—</p>
		区分	統合共学化	単独校の共学化	中高一貫校への改編																											
H17	角田・角田女子 築館・築館女子 気仙沼・鼎が浦	古川	古川女子																													
H18		石巻 石巻女子 石巻商業																														
H19		仙台第二																														
H20		第一女子																														
H21		仙台第三																														
H22	白石・白石女子 塩釜・塩釜女子	仙台第一 第三女子	第二女子																													
		<p>—</p>	<p>○県立高校将来構想推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共学化に伴い校歌の作詞・作曲料、校旗のデザイン・作成費のうち一定額を県費から支出。 	<p>○成果指標「別学高校の数(箇所)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値 0校 実績値 0校 <p>○有効性評価「成果があった」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年4月から第二女高を仙台二華中・高に再編。 ・平成22年4月から白石、仙台三桜、仙台第一、二華高、塩釜高が共学化。 <p>○効率性評価「効率的」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年4月からの関係校の再編統合及び共学化に向けて、校旗などを整備。 																												